

今、教育委員は！

平成 26 年 12 月
教育長 糊澤 晴樹

師走を迎え、何かと気ぜわしい日々をお過ごしではないでしょうか。
年が変わるという節目は、毎年訪れる一級品の節目かと思えます。一年の大事なまとめをして、新しい年に希望・展望をもてる年末年始でありますように。・・・皆様、よいお年をお迎えください。

以下は、是非お伝えしたい最近のトピックスですが、「希望・展望」につなげていただければ幸いです。

◇ 地元で誕生する新小学校のために ～門柱、門標、ピアノ等寄贈～

11月号でも紹介しましたが、岩村田小学校の過大規模解消で同校から分離新設となる佐久平浅間小学校(仮称)がいよいよ今月竣工となります。来年3月8日には、一般市民向け見学会も行う予定です。



〔工事中の（仮称）佐久平浅間小学校〕

さて、その新小学校の開校に向けて、門柱、門標、ピアノ、絵画、校歌額等をご寄贈いただけることになりました。去る11月28日には、第2代佐久市長の神津武士様、地元長土呂区奨学会代表の神津芳生様、元長土呂区長の神津重雄様の3氏が来庁され、目録贈呈式が行われました。その想いを末永く大事にし、皆様から愛される学校づくりに努めてまいります。

◇ ふるさと佐久の子どもたちのために ～故大工原朝代氏 1億円寄付～

中込出身の大工原朝代さんは、様々な困難を乗り越えて東京で活躍された方ですが、今年の2月、95歳の天寿を全うされました。そのご遺言の中に、母校中込小学校の図書充実と、ふるさと佐久の、特に苦境を乗り越えて学ぶ子どもたちのために1億円を使って欲しいというご遺志が示されており、今月4日にご寄付をいただきました。

中込小学校には、大工原氏の想いを後世に伝えるメッセージも添えて「大工原朝代文庫」コーナーを設けます。また、市内の遺児の皆さんが進学する折々に、市から「激励金」を贈ることとして、現在制度の検討を始めています。ご遺志を受けた子どもたちは、かけがえのない命を一層輝かせるに違いありません。本当にありがとうございました。



〔ご親族より目録をいただきました〕

◇ 交通安全 ～子どもたちからのメッセージ～

去る12月2日、高瀬小学校で交通指導所開所式を行いました。校門前のフェンスには、「今日も安全運転をありがとう」のメッセージが一文字ずつのボードとなって掲げられました。また、6年生の共同制作による特大ポスターも可愛らしく安全運転を呼びかけています。



実はこの企画は、今年7月31日に行われた子ども議会で同校代表者より提案され、12月の全国交通安全運動に合わせて実現されたものです。

注目したいのは、子どもたちから発せられたメッセージの温かさです。「スピード出すな」といった禁止形ではない発信は、道行くドライバーの心に響くことでしょう。

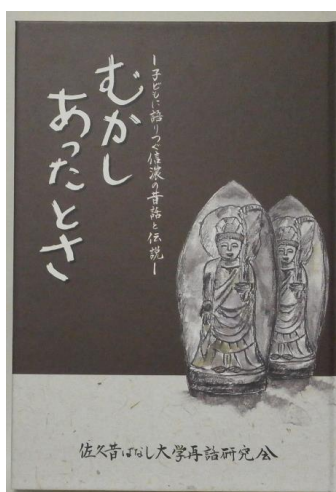


◇ 『むかしあったとき — 子どもに語り継ぐ信濃の昔話と伝説 —』 ～書籍の寄贈～

この度、佐久昔ばなし大学再話研究会より、長年のご研究が結実した標記書籍が刊行されました。

そして魅力満載のこの本を、佐久地域の全小中学校をはじめ、図書館や児童館にも多数ご寄贈いただきました。

「再話」の正しい文法に基づいて出来上がった『むかしあったとき』は、佐久をはじめ信濃の地に伝わる昔話と伝説が、簡潔で美しい語り口で編まれており、今後幾世代にも渡って語り継がれていく伝承文化の原典として生き続けるに違いありません。



ご指導にあたられた筑波大学名誉教授の小澤俊夫先生は、「現代の私たちは、昔話や伝説の伝承の途中にいる者です。日本の美しい自然や、水や空気を大切に守って次の世代に伝承しなければならぬのと同じように、昔話と伝説も、昔からの形をなるべく壊さないで、子どもたちに渡さなければならぬと思うのです。」とおっしゃっています。

世の中が目まぐるしく変化する現代にあって、『むかしあったとき』が子どもにも大人にも心の琴線に触れる心地よい刺激を与えてくれるように思います。発刊、ご寄贈、本当にありがとうございます。